

2020年3月23日
全国港湾19発第79号

全日本港湾運輸労働組合同盟
会長 日吉正博 殿

全国港湾労働組合連合会
中央執行委員長 糸谷 欽一郎



全国港湾と港運同盟の共闘発展に向けた申入れ

貴職におかれましては、益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

さて、貴組織と私共全国港湾は、港湾産別組織として長年にわたり、統一要求と統一行動を積み上げることで共闘関係を育み今日に至っています。私たちは、今後ともこの関係をより深化させ、港湾労働者の社会的・経済的地位の向上に力を合わせていきたいと考えています。19春闘では、様々な課題を残したとはいえ、全体としては、日港協の「産別最賃に回答しない」と固辞する姿勢に対し、4波120時間のストライキ行動を共同して取り組むことができました。あらためて、貴組織のご理解とご協力に感謝する次第です。

こうした立場から、この間の共闘の経験をより発展させたいと願い、下記の通り申し入れますので、貴職と貴組織のご理解とご協力を要請する次第です。

記

1. 全国港湾と港運同盟は、2020年春闘を契機に、これまで以上に両組織の共同行動の推進に努めることを確認し合いたい。
2. 全国港湾と港運同盟は、両組織連署の要求実現をめざすためのストライキを含む産別諸行動の実施に当たっては、両組織合同会議において忌憚のない議論を交わし、その結果、確認した行動を誠実に実行することを確認し合いたい。
3. 上記の場合、各港湾(港)にあつて、未組織があるなどの事情で一律的な行動に困難さがあつたりする場合は、率直に意見交換し必要な対策を講じるなどの取り組みを共同で進める努力を行うこととし、コンテナ船の港湾作業を「ライフライン」と位置付けることのないことを確認し合いたい。
4. 全国港湾と港運同盟は、様々な困難を乗り越え、港湾労働組合としての信義を大事にして、双方に困難を抱えたときは、誠実に協議し問題の解決を図ることを確認し合いたい。

以上